

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚プロジェクト

1 事業名	70 周年記念×バレエ×音楽公演 ～能登を応援しよう～
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	<件名> 70 周年記念×バレエ×音楽公演 ～能登を応援しよう～ <趣旨> 市政 70 周年を祝し、バレエ×音楽の公演を実施。加えて、令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震の被災者支援の為に、義援金を募集することで、29 年前に阪神淡路大震災で被災した宝塚市を支援してくれた石川県民の被災者に対して支援をした。 <方法> ベガホールにおいて約 400 人の観客とともに、第一部では、宝塚市内で活動をしているコーラスグループの西山ハニーコールとポップンリンガーズが公演。第二部では、ウクライナ支援をしている国際的バレエダンサー針山愛美、宝塚市在住チューリッヒ芸術大学院卒のチェロ奏者・大熊勇希など、国際的に幅広く活躍している芸術家達を宝塚市にお呼びしてバレエ×音楽公演を行いました。 入場料による収益金の一部と公演当日の募金により集めた支援金を被災地に送り、能登半島地震の復旧に協力した。 <内容> 日時：令和 6 年 11 月 30 日（土）14：00～16：10 場所：ベガホール 公演名：70 周年記念×バレエ×音楽公演 ～能登を応援しよう～ 参加者数：350 名

3 市制 70 周年をお祝いした内容

市制 70 周年を祝し、宝塚市が誇る宝塚市立文化施設であるベガホールにおいて、バレエ×音楽の公演を実施する事により、約400人の観客とともに市制70周年をお祝いした。

ウクライナ支援をしている国際的バレエダンサー針山愛美、宝塚市在住チューリッヒ芸術大学院卒のチェロ奏者・大熊勇希など、国際的に幅広く活躍してる芸術家達を宝塚市にお呼びしてバレエ×音楽公演を行う事で、宝塚歌劇を筆頭に、宝塚は、歌やダンスなどの芸術の街として国内にとどまらず、世界中への架け橋となっている宝塚市の市制70周年の歩みを再認識するとともに、市民一人ひとりが、素晴らしいまちの魅力に包まれ、安心して暮らすことに誇りを持ち、音楽とバレエを通して未来への光となり、まちを愛する心をさらに深める機会とした。

4 事業の効果・成果

音楽による聴覚だけの楽しみではなく、バレエによる視覚での楽しみも合わせて、五感を通して芸術を感じ、宝塚へのシビックプライドを醸成した。

合わせて、「手拍子」や「ブラボー」を演者だけではなくお客様も一緒になり公演を作り上げながら楽しさを感じていただく。日々、ストレス社会の世の中、芸術家たちと共に楽しい時間を共有し、明日への活力の懸け橋への効果になった。

また、能登半島地震の被災者に寄り添う事により、それぞれの人々が、「自助・共助・公助」を知り、みんなで助け合う心を持ち、震災の危険性に対しての心構えや日々の生活を見直す機会を創造する効果を得る。当日、募金活動をし、収益金の一部とともに兵庫県を通して能登半島地震への寄付をした。

音楽を聴く事により、自律神経系への作用により、心拍や血圧が変化し、興奮や鎮静リラクゼーションなどの効果により、高齢者には、「身体機能の維持・向上」「認知症の予防」「ストレスの発散」「社会性の醸成」。子供には、想像力や創造性が高まり、明るい未来に向けての希望と夢を養う効果があった。

5 実施した安全対策

当日会場出入り誘導スタッフを配置